

令和5年度 都城市立上長飯小学校 学校評価報告書

評価 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

【学校経営ビジョン】子どもに「今日も学校に来てよかった!」と感じさせる学校・学級経営～よき伝統の継承・学校内共通の壁の確立・子どもの後ろに保護者を感じる風土の醸成・ATM Mindの尊重						
重点目標	評価項目	自己評価コメント	総合評価	改善及び対策	学校関係者評価コメント	評価
豊かな心の育成	1 他学年へのよい相互影響	チャイム中の静止は、昨年度よりさらに定着しており、落ち着いた雰囲気での授業が行われている。本年度途中から「右一静歩」の指導も全校一斉で取り組み、成果を上げている。 「チャイム黙想での授業開始」職)R4:96.9%→R5:100%	4	学校生活の様々な場面における行動目標を設定し、よい行動をした児童をほめる支援を積極的に行う。(スクールワイドPBS)	○よく定着しており、素晴らしい。○「右一静歩」は低学年でも分かりやすい。子どもたち同士で注意し合う場面も見られた。○よい行いをした時に具体的にほめることを継続して行ってほしい。●学校外ではあるが、登校班での登校を積極的に勧めてほしい。	3.8
	2 地域へのよい影響	全校児童からあいさつボランティアを募り、校内の各所であいさつ運動を行った結果、大きなあいさつができるようになった。校内での会釈については今後も継続して指導していく。 「あいさつや会釈」職)R4:62.5%→R5:59.2%「進んであいさつ」児)R4:89.6%→R5:89.7% 保)R4:71.9%→R5:79.4%	3	あいさつボランティアを今後も継続し、児童の主体的な活動を推進する。	○年度当初に比べ、あいさつをする児童が増えている。声もしっかり出ている。○学校と地域との連携であいさつ運動がさかんになっている。○児童があいさつや会釈を進んでするので、気持ちが良い。○あいさつボランティアは今後も継続して行ってほしい。●登校中の地域の方へのあいさつが十分でない。あいさつ運動を活用して改善してほしい。	3.0
	3 学校全体を守る	管理職への迅速な報告・連絡・相談により、早期に解決することができた。不登校についても、関係機関と連携し、解消に向けた取組を行うことができた。 「報告・連絡・相談などの連絡体制」職)R4:96.9%→R5:100%	4	些細な事案でも、丁寧かつ迅速に対応する。また、全職員で情報を共有し、再発防止に努める。	○児童の生命を守るという責任のもと、報告・連絡・情報共有はとてもしっかりしている。○丁寧かつ迅速な対応が保護者の安心につながる。	3.9
	4 授業を守る	学習訓練の徹底と複数の職員での指導、個別の指導等により、どの学年も落ち着いて学習に取り組むことができた。 「指導が通らない児童への生徒指導体制」職)R4:93.7%→R5:100%	4	「休み時間にするべきこと」を整理し、全学年で共通実践することで、時間どおりに学習が始められるようにする。	○先生方の授業の工夫もあり、楽しい集中した授業ができています。○分かる授業を心がけている。特に複数の職員による指導や個別指導が各学年でできている。	3.8
	5 保護者の信頼を守る	保護者へのお願いや案内は事前に文書やメールで周知した。保護者からの要望については、その都度校内で検討し、できるだけ早く回答するよう努めた。 「保護者、関係機関との連携で適切な対応」職)R4:93.5%→R5:96.1%	4	保護者には正確な情報を早めに伝えるようにする。また、保護者からの問い合わせや要望については誠実に対応する。	○保護者への案内文書やメールでの周知も定着し、安心感がある。○ホームページやメールでの学校からの情報発信を欠かさないことで、保護者からの信頼は十分得られている。	3.7
	6 子どもの生き甲斐を守る	都城市版デジタルキャリアパスポート「おいろぐ」による活動内容や感想等の入力を行っている。 「計画的なキャリア教育の推進」職)R4:82.8%→R5:69.2%	3	学習の中で児童自身が「おいろぐ」を活用し、学習の記録が保存できるようにする。	○児童が将来を考え、夢をもてるように「おいろぐ」の活用に期待している。○全児童が活用できるように、さらに進捗してほしい。●計画的なキャリア教育推進のためには、職員間の共通理解は必須である。今後も期待したい。	3.3
学力向上	1 学習指導法の改善	市教委が提唱している授業改善の視点「わ・さ・び」を意識した授業づくりを行い、妻ヶ丘地区の教職員にも公開した。 「分かる・できる授業づくりの実践」職)R4:90.3%→R5:92.6%「授業が分かる」児)R4:96.5%→R5:96% 保)R4:88.2%→R5:91.7%	4	日々の教材研究において、「わ・さ・び」を意識した授業づくりを全学年で行っていく。 ※「わ・さ・び」とは、「脳役に徹する」「先を読む」「微細な変化に気付く」という市教委が提唱する授業改善の視点	○「分かる・できる授業づくり」の実践を今後も継続して行ってほしい。○児童が興味・関心をもつような資料や用具を使用し、児童が意欲的に活動できる授業を今後も期待している。○保護者のアンケート結果から、先生方のスキルアップが伺える。	3.8
	2 ICT教育の充実と研修推進	授業中や週末の持ち帰りで習熟を目的とした学習を行った。また、夏季休業や放課後に職員を対象としたICT活用向上研修を行った。「研修が教育実践に活かされている」職)R4:93.6%→R5:96.2%	4	職員を対象とした研修を今後も行い、教職員のスキルアップに努める。30分程度のミニ研修も職員のニーズをもとに実施する。	○全職員のさらなるスキルアップに期待する。○ICT教育の環境も整い、さらなる児童の学力向上に期待したい。○低学年の児童も器用にタブレットを使いこなしており、着実にスキルアップが図られている。	4.0
たくましい体	1 体育指導の充実	体育学習や昼休みの制限が緩和され、昨年度よりも運動時間を確保することができた。 「体育学習の工夫を中心とした体力向上」職)R4:73.4%→R5:80.8%「体育以外の体力向上」児)R4:86.7%→R5:90.1%	3	感染症対策や熱中症対策をしっかりと行いながら、児童の体力向上につながる運動を行っていく。また、昼休みの屋外での遊びを奨励し、運動への意欲付けを図る。	○アンケート結果からも運動時間が増えたことが分かる。元気に外で遊ぶ姿が日常になってきたことが喜ばしい。●コロナ禍前のような運動時間の確保をし、体力向上を目指してほしい。	3.4
	2 校外スポーツと連携	各少年団とも練習量が増え、積極的に大会に参加し表彰を受けた。児童の体力向上に寄与している。	3	各種大会での活躍をホームページ等で称賛し、意欲付けを図る。	○ホームページで紹介され、他の児童にもよい影響となる。●保護者や地域の方へ周知する方策を考えるとよい。	3.2

たくましい体	3	保健指導	学級担任と協力し、感染対策を講じて各種検診を効率よく実施した。また、可能な限り教室に行って保健指導を行った。 「適切な衛生や健康に関する指導」職)R4:93.3%→R5:100% 「早寝・早起き・朝ご飯」児)R4:86.7%→R5:83%	4	健康・衛生に関する授業を学級担任とともに積極的に行う。また、保健便り等で保護者にも情報提供し、理解と協力を求めていく。	○校内には健康や衛生に関する掲示がたくさんあり、児童の理解を深めるのに効果的である。●保健指導は家庭にも理解と協力を求め、子どもの健康管理は家庭でつくられることを呼びかけてほしい。●早寝・早起き・朝ご飯の児童の結果が下がっているのが気になる。次年度、改善してほしい。	3.7
	4	食育	感染対策と異物混入防止対策を徹底し、給食指導を行った。給食の運搬・配膳については、全職員で指導し、無言で整然と行うことができた。 「給食時の適切な衛生指導」職)R4:93.3%→R5:100%「給食は好き嫌いをせず食べる」児)R4:80.9%→R5:83%	3	「弁当の日」を全校で継続して行う。偏食指導についても引き続き取り組む。異物混入防止対策を徹底する。もし、異物混入があった場合も学校独自のマニュアルに沿って対応する。	○弁当の日の取組は、児童の食育の一環を担っているため、今後も継続して取り組んでほしい。○給食の運搬・配膳が無言でできるのは素晴らしい。○異物混入防止対策を児童に理解させることにより、食の大切さを学んだと思う。●学校独自のマニュアルを保護者にも周知するとよい。●食べ残しゼロを目指してほしい。	3.1
安心安全な学校づくり	1	真面目・頑張る子どもが犠牲とならぬ安心した学校経営	問題行動については、生徒指導主事を中心に正確な事実確認と保護者・関係機関と連携した指導・見届けを行った。 「指導が通らない児童への生徒指導体制」職)R4:93.7%→R5:100%	4	問題の早期発見・早期解決を図るとともに、未然防止のための体制や対策を講じる。	○個々の児童への指導を全職員で把握・理解されている。○生徒指導主事が大変よく指導を行っている。	3.8
	2	登校渋り、不登校児への対応	不登校児童への対応はもちろん、不登校の兆候が見られる児童についても早期に把握し、S S W や子ども家庭課、保護課、児相の協力を得ながら解消に向けた取組を行った。 「配慮を要する児童への理解と指導」職)R4:100%→R5:100%	4	不登校の兆候が見られる児童を早期の段階で把握し、関係機関を積極的に活用して対応していく。また、保護者に対して、学校の考えを繰り返し伝え、理解と協力を求めていく。	○今の時期に学校でしか学べないこともあるので、特に低学年の不登校児対応に力を入れてほしい。○細かい指導がなされ、保護者の理解も得られている。児童の心理的配慮をしながら今後も頑張してほしい。○各関係機関と協力し、十分に対応できている。今後も早い段階での対応をお願いしたい。	3.9
	3	緊急時の対応	緊急時の引き渡し訓練を1学期に計画したが雨天中止となった。避難経路については、職員間で協議し改善を図った。 「不審者を想定した避難体制の整備」職)R4:73.3%→R5:88.5%	4	本年度実施した避難訓練の成果と課題を分析し、本校の危機管理マニュアルを見直すとともに、全職員で確認する。	○予期せぬ大規模災害や事故発生に備えた避難訓練は重要である。安全確保のための体制づくりを今後も行ってほしい。●不審者対策については課題がある。	3.9
	4	新型コロナウイルス感染症防止の徹底	新型コロナウイルスの5類移行後の感染対策の在り方について校内で協議し、保護者、児童に周知した。 「衛生や健康に関する指導の実施」職)R4:100%→R5:100% 保)R4:95.1%→R5:81.9% 児)R4:95.8%→R5:92.2%	4	継続して感染症拡大防止に努め、感染レベルに応じた教育活動を行う。	○感染レベルに応じた活動が十分にできていた。●保護者の結果が大きく下がっていることの確認が必要である。	3.7
情報発信	保護者の信頼を得るための様々な情報発信	ホームページ(日誌)の更新を毎日行い、12月12日現在で、新規のホームページアクセス数が137,226件となった。(R4の同時期は75,448件)併せて、月1回の学校便りを発行し、児童の様子を積極的に発信している。	4	次年度も学校の教育活動や学校からのお知らせ等を積極的に発信する。	○学校からの多くの情報発信のおかげで、保護者も安心して児童を登校させることができる。学校への信頼は十分得ている。○毎日のホームページ更新は素晴らしい。●学校だよりを地区の閲覧板で回すなど、ホームページ以外の情報発信も行うとよい。	3.7	
特別支援教育の充実	相談体制の充実	特別支援コーディネーターが保護者と面談したり、関係機関との連絡調整を行ったりしている。さらに、市のS S W を通して、医療や福祉関係の機関にもつないでいる。 「福祉・医療・教育等の関係機関と連携ができていく」職)R4:100%→R5:100%	4	今後も積極的に面談や相談を実施するとともに、相談体制の充実を図る。	○特別支援学級の児童一人一人の特性に応じた支援がなされている。児童がのびのびと教育を受けていて素晴らしい。○複数の先生が、児童一人一人に向き合い、個性を生かした指導を行っている。	3.9	
家庭・地域社会・関係機関との連携	開かれた学校づくり	学校運営協議会は計画どおりに実施できている。また、運動会や参観日など学校の行事にも参加できる場を設定することができた。学校支援ボランティアの募集を保護者、地域に呼びかけた。「社会に開かれた学校づくりの実践」職)R4:93.3%→R5:96.2%	3	次年度も保護者及び地域の方を対象に、学校が必要とするボランティアを募り、人材の確保に努める。	○地域の経験豊富な人材を学校支援ボランティアとして募集し、地域ぐるみの営みをさらに推進してほしい。●地域の行事も行われるようになっており、積極的に参加してほしい。●地域の行事に積極的に参加するよう学校からの呼びかけも必要である。	3.1	
職場の働き方改革の推進	教職員の健康と家族を守るための改革	放課後の職員会・研修会の精選や学期末整理週間(全学年5時間授業)の設定など、勤務時間内に業務が処理できるようにした。 「職場の働き方改革が推進されている」職)R4:84.4%→R5:85.4%	3	教職員の業務の見直しや学校行事の精選を行い、縮減や効率化をさらに図る。また、時間外勤務が月45時間以上の職員には、管理職が個別に指導助言を行う。	○本校の先生方は、児童のために日々の業務を行っており、頭が下がる。●職員の業務負担が大きい部分については改善が必要である。●まずは全職員が時間を意識し、時間外勤務にならないように工夫する。次に、改善プロジェクトを校内で組織し改善を図るとよい。	3.1	

※ 自己評価コメント欄の「%」は、「職」が職員の評価で「期待以上」「ほぼ期待どおり」の合計、「児」が児童、「保」が保護者のアンケートの「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的だと考えられる意見の合計の割合です。